

議決権行使レポート

証券コード 8869

会社名 明和地所

| | 賛成 | 反対 | 棄権 |
|-------------------------|----|----|----|
| 第1号議案 剰余金の処分の件 | ○ | | |
| 第2号議案 取締役9名選任の件 | | | |
| 原田 英明 氏 | | ○ | |
| 柿崎 宏治 氏 | ○ | | |
| 鈴木 真 氏 | ○ | | |
| 三平 慎也 氏 | ○ | | |
| 福眞 吉葉 氏 | ○ | | |
| 川田 幸司 氏 | ○ | | |
| 太田 明 氏 | ○ | | |
| 小林 大祐 氏 | ○ | | |
| 中山 正行 氏 | ○ | | |
| 第3号議案 監査役3名選任の件 | | | |
| 山本 大介 氏 | ○ | | |
| 中村 満 氏 | | ○ | |
| 古藤 昇司 氏 | ○ | | |
| 第4号議案 補欠監査役1名選任の件 | | | |
| 田邊 勝己 氏 | ○ | | |
| 第5号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件 | | | |
| 義澤 俊介 氏 | ○ | | |
| 板倉 雅明 氏 | | ○ | |
| 第6号議案 役員賞与支給の件 | ○ | | |

上記の推奨をした理由

【第1号議案】

配当性向を計算すると約23.9%であり、ISSが賛成を推奨する15%から100%という基準を満たしているため、賛成である。

【第2号議案】

ISSの提示する取締役選任に反対を推奨する基準に照らし合わせて考える。2020年の自己

資本利益率は新型コロナウイルスの影響で極端に低かったため、2021年～2023年の3年間の自己資本利益率の平均を求めると12.91%で基準となる5%を上回っており、資本生産性はISSの基準を満たしているため、問題ないと言える。「保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式」は貸借対照表に記載されておらず、制作保有株式の過度な保有があるかは判断できない。株主総会後の取締役会では社外取締役は9名のうち2名であり、全体の3分の1未満であり、客観的に評価をするための独立性が十分ではない。そして、株主総会後の取締役会では女性取締役や外国人取締役は1人もおらず、全員が45歳以上の男性であることから、多様性が備わっていない。また、親会社や支配株主を有さない。社外取締役の前会計年度における出席率について、小林大祐氏は約94%であり、問題はない。中山正行氏は新任であり、昨年度の記録はない。

これらの観点から考えて、取締役会の客観性と多様性の確保に問題があることから代表取締役社長候補の原田英明氏の選任に反対するが、資本生産性も高く、その他の点には特に問題がないことから他の8名の選任については賛成する。

【第3号議案】

ISSの提示する監査役選任に反対を推奨する基準に照らし合わせて考える。社外監査役候補者である3名は過去に明和地所株式会社で勤務した経験や重要な取引をした経験がなく、会社との間に特別の利害関係がないことから、独立性に問題はないと考える。前会計年度における取締役会の出席率については、山本大介氏が100%、中村満氏が62.5%、古藤昇司氏が100%であり、前会計年度における監査役会の出席率については、山本大介氏が100%、中村満氏が約64.3%、古藤昇司氏が100%である。このことから、前会計年度における全ての取締役会、監査役会に出席している山本大介氏と古藤昇司氏の出席率に問題はないが、どちらの出席率もISSが基準として提示する75%を下回っている中村満氏の出席率には問題があると言える。

これらのことを踏まえて、選任に賛成か反対かを考える。山本大介氏は金融機関での長年の業未経験から財務及び会計に関する相当の知見を有しており、独立性や出席率にも問題がないため選任に賛成する。中村満氏は取締役会及び監査役会への出席率に問題があることから選任に反対する。古藤昇司氏は不動産業界および建設業界に関する高い知見を有しており、東京証券取引所の定めに基づく独立役員でもあることから、独立性に優れており、出席率にも問題がないことから、選任に賛成する。

【第4号議案】

田邊勝己氏は独立性にも問題がなく、弁護士として豊富な法律知識を有し、企業法務に精通していることから選任に賛成する。

【第5号議案】

ISS の提示する基準に照らし合わせて考える。売上高や当期純利益は増加しており、業績は良くなっており、個別の支給額が開示されている点から退任取締役に対し、退職慰労金を贈呈することに問題はないと言える。しかし、義澤俊介氏は常務取締役を務めていたが、板倉雅明氏は社外取締役を務めていた。社外取締役が退職慰労金の支給を期待するようになれば、経営陣に厳しい発言をすることが困難になるため、義澤俊介氏への退職慰労金の支給は賛成するが、社外取締役であったという理由で板倉雅明氏への退職慰労金の支給は反対する。

【第 6 号議案】

第 5 号議案でも確認したように明和地所株式会社の業績は良くなっており、株価も上昇傾向にあり、問題はないと言える。また、賞与総額や取締役の個人別の報酬等の内容を開示し、取締役会で決定することができる役員賞与についての決定について、株主の承認を求めている点も評価することができる。以上のことから役員賞与支給については賛成である。

参考文献

第 37 回定時株主総会招集ご通知 （最終閲覧日 6 月 27 日）

(<https://www2.jpx.co.jp/disc/88690/140120230606597341.pdf>)

明和地所株式会社 （最終閲覧日 6 月 27 日）

(<https://www.meiwajisyo.co.jp/corp/>)

ISS 2023 年度版 日本向け議決権行使助言基準 （最終閲覧日 6 月 27 日）

(<https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>)